

L I E B E G . H

グループホームリーベ

地域連携推進会議

R8.2.18 13:30~



# 本日の流れ

- ① 自己紹介
- ② 運営状況  
定員、料金体系  
ご利用者様の生活状況
- ③ 事業内容  
運営方針  
組織体制・事業報告  
災害時の対応（BCP）について
- ④ 質疑応答 Q&A

# 2025年4月から義務化！「地域連携推進会議」の基本ガイド

障害福祉サービス（共同生活援助等）の事業運営の透明性を高め、サービスの質を確保するために設置が義務付けられます。  
令和7年度（2025年4月）から年1回以上の開催と施設見学が必須となります。

## 会議の義務化と4つの目的



**2025年4月**  
**2025年4月から開催が完全義務化**  
令和7年度より、全ての共同生活援助事業所等で実施が必須となります。



**年1回以上**  
**会議と施設見学を「年1回以上」実施**  
事業所単位での会議開催と、住居単位での見学受け入れが必要です。



**運営の透明性と権利擁護の確保**  
外部の目を入れることで、利用者の孤立防止と虐待防止に繋がります。



地域連携推進会議

## 会議の主な議題例を目的別に整理

### 地域連携

- 障害の理解促進
- 近隣苦情の共有
- 地域行事の案内



### 透明性・質の確保

- 日常生活の様子
- 経営状況
- BCP(業務継続計画)



### 権利擁護

- 虐待・事故報告
- 支援者の様子
- 意向アンケート結果



## 構成メンバーと実施のポイント

### 5名程度の多様な構成員

利用者、家族、地域代表、福祉の知見者、市町村担当で構成します。



### 「顔の見える関係」を築く施設見学

構成員が地域連携推進員として訪問し、利用者や職員と交流します。



### 議事録の作成と公表が必須

会議結果はHP等で広く公表し、地域の理解を促進する必要があります。



# 施設概要



リーベ本庄  
R5.7.1OPEN  
定員：10名



リーベしのおか  
R7.10.1OPEN  
定員：5名

# 料金体系



**リーベ本庄**

**家賃**

**35,000円**

**水光熱費、食費、日用品費**  
**実費**

**障害福祉サービス自己負担**  
**0～37,500円**

**想定費用負担月額**  
**65,000円～100,000円**  
※収入に応じて家賃補助1万円有



**リーベしのおか**

**家賃**

**26,000円～38,000円**

**設備維持管理費**

**2,000円**

**水光熱費、食費、日用品費**  
**実費**

**障害福祉サービス自己負担**  
**0～37,500円**

**想定費用負担月額**  
**55,000円～100,000円**  
※収入に応じて家賃補助1万円有



前田面

小牧市立本庄小



リーベ本庄

池之内

車で10分前後

リーベしのおか



佐川急便(株)  
小牧営業所

文津

リンナイ精機(株)

尾張広域緑  
道フレッシュ  
パーク

MEGAドン・キホーテ  
UNY-桃花台店

お庭の便利屋 smileガ-  
草刈り最安330円

篠岡

桃花台鳥居松線

荒井大草線

桃花台

# ご利用者様の生活（1日の流れ）

## 基本的なリズム



起床



朝食 6:15~8:15



ご出勤（日中活動先へ）



帰宅



夕食 18:00~20:00



入浴

フリータイム



22:00 就寝

## その他



外出・外泊は事前にご連絡の上、  
22:00までのご帰宅をお願い致します



月に2回、内科・精神科・皮膚科の  
往診がございます。



ご利用者様毎に1か所お掃除の担当箇所  
を持って頂き、共有部の清潔維持管理を  
お願い致します。

# グループホームLIEBEでの イベント



# 事業の内容



# 運営方針

私たちが大切にしている3つのチカラ



自己管理能力-日中の生活リズムや身の回りの物の管理（金銭含む）を身に着ける力



自己作業力-興味や関心を尊重し、創造性や社会的な役割を身に付けられる力



自己健康力-栄養面、衛生面から生活していく上で必要な身体の健康を維持する力



# 組織体制



リーベ本庄・しのおか

管理者 1名

サービス管理責任者 1名

生活支援員 3名

世話人 10名

夜間支援従事者 13名

R8.2.1現在

# 事業実績

## IOTの活用



### ジョブメドレーアカデミー（職員研修）

タブレットでの動画視聴研修を通年で行い、職員の専門性UPを図る。



### ラインワークス（情報共有）

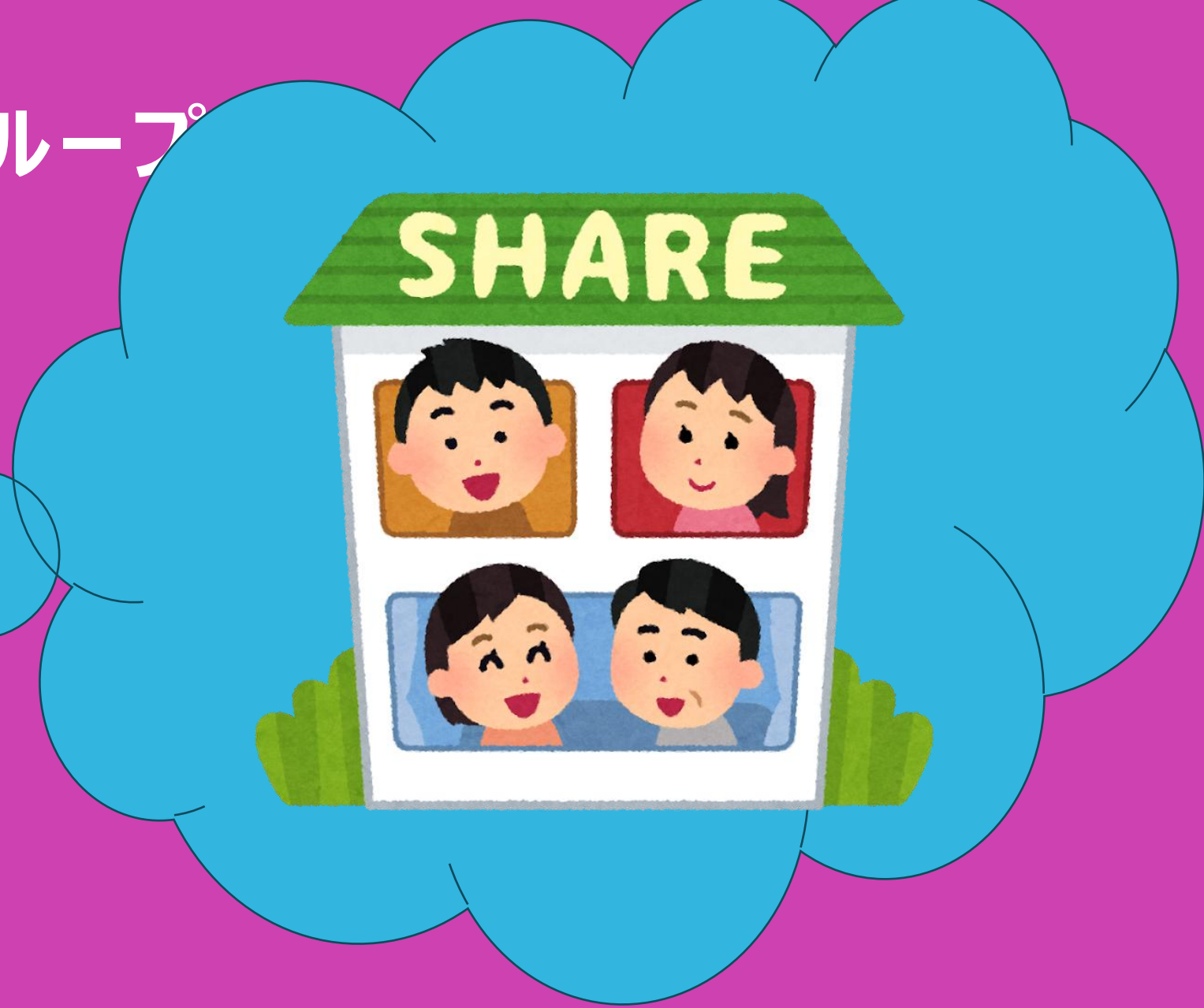
グループラインでの迅速な情報共有を行い、伝達漏れを防ぐ。



### タッチオンタイム（勤怠管理システム）

指紋や専用キーで勤怠をクラウドにて一元管理。

そもそもグループ



# 大きく3種類ございます

① 外部サービス委託型

② 日中支援型

③ 介護サービス包括型

リーベはこちらに該当します

# ① 外部サービス委託型



障害者グループホーム：  
世話人が常駐

業務委託



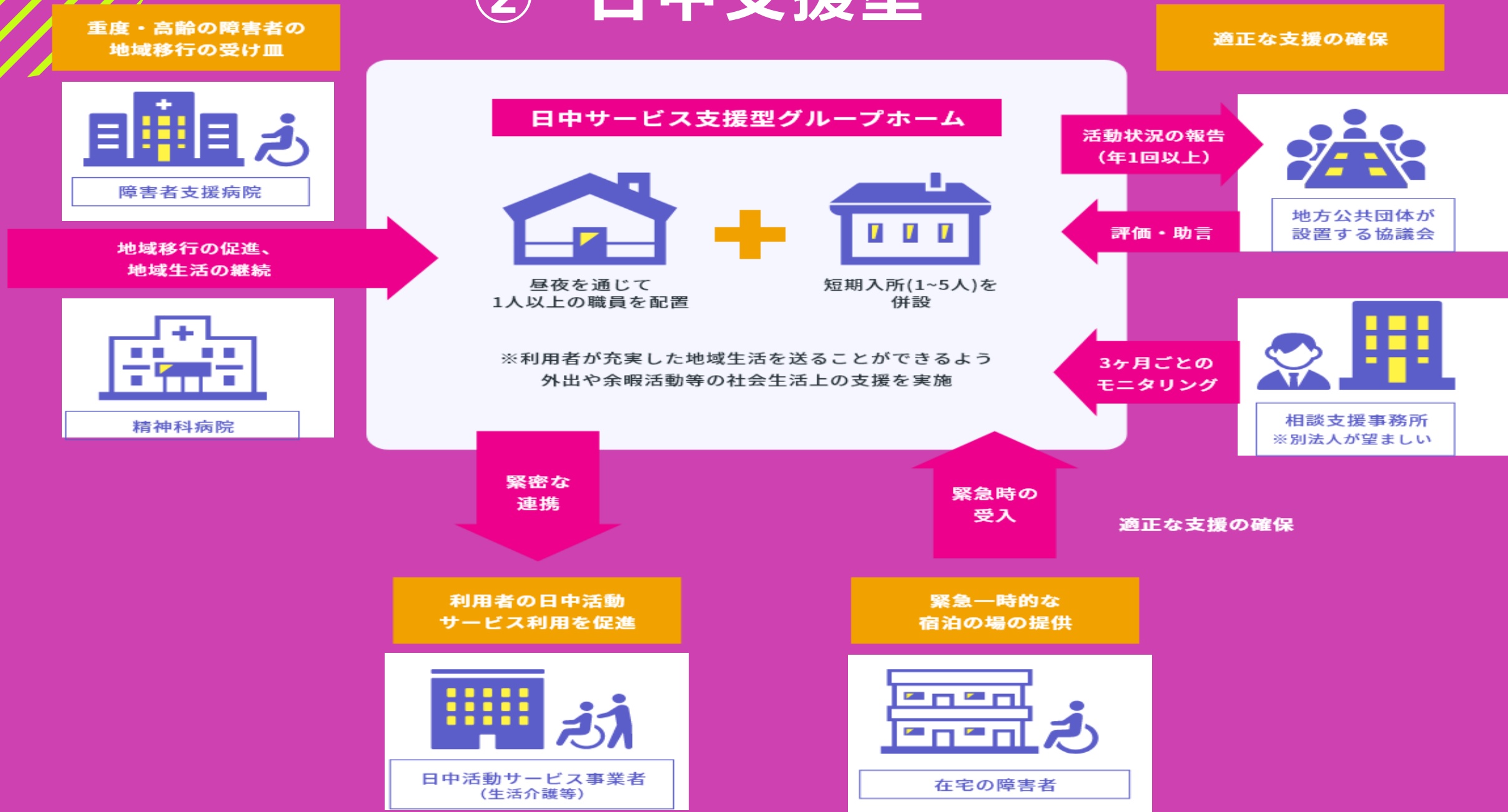
介護サービス



居宅介護事業所：  
ホームヘルパー

外部サービス利用型

## ② 日中支援型



### ③ 介護サービス包括型

行政



報酬支払

運営者



- ・個別支援計画の作成
- ・日常生活の援助
- ・食事などの介護

原則利用不可



介護サービスについては事業所の従業者が提供  
利用者の状況で介護スタッフ（生活支援員）を配置



居宅介護事業所等  
(外部サービス)



# 共同生活援助(介護サービス包括型)

## ○対象者

- 地域において自立した日常生活を営む上で、相談、入浴、排泄又は食事の介護その他日常生活上の援助を必要とする障害者(身体障害者にあつては、65歳未満の者又は65歳に達する日の前日までに障害福祉サービス若しくはこれに準ずるものを利用したことがある者に限る。)

## ○サービス内容

- 主として夜間において、共同生活を営むべき住居における相談、入浴、排せつ又は食事の介護その他日常生活上の援助を実施
- 利用者の就労先又は日中活動サービス等との連絡調整や余暇活動等の社会生活上の援助を実施

## ○主な人員配置

- サービス管理責任者 30:1以上
- 世話人 6:1以上(4:1~6:1)
- 生活支援員 障害支援区分に応じ  
2.5:1 ~ 9:1以上

## ○報酬単価(令和元年10月~)

### ■基本報酬

世話人4:1、障害支援区分6の場合 [666単位] ~ 世話人6:1、障害支援区分1以下の場合 [171単位]

### ■主な加算

#### 夜間支援等体制加算(Ⅰ)・(Ⅱ)・(Ⅲ)

- (Ⅰ) 夜勤を配置し、利用者に対して夜間に介護等を行うための体制等を確保する場合 672単位~54単位
- (Ⅱ) 宿直を配置し、利用者に対して夜間に居室の巡回や緊急時の支援等を行うための体制を確保する場合 112単位~18単位
- (Ⅲ) 夜間及び深夜の時間帯において、利用者の緊急事態等に対応するための常時の連絡体制又は防災体制を確保する場合 10単位

#### 日中支援加算

- (Ⅰ) 高齢又は重度(65歳以上又は障害支援区分4以上)の利用者が住居の外で過ごすことが困難であるときに、当該利用者に対して日中支援を行った場合 539単位~270単位
- (Ⅱ) 利用者が心身の状況等により日中活動サービス等を利用することができないときに、当該利用者に対し、日中に支援を行った場合 539単位~135単位

#### 重度障害者支援加算

区分6であつて重度障害者等包括支援の対象者に対して、より手厚いサービスを提供するため従業者を加配するとともに、一部の従業者が一定の研修を修了した場合 360単位

#### 医療連携体制加算(Ⅴ)

医療機関との連携等により看護師による、日常的な健康管理を行ったり、医療ニーズが必要となった場合に適切な対応がとれる等の体制を整備している場合 39単位

#### 精神障害者地域移行特別加算

精神科病院等に1年以上入院していた精神障害者に対して、地域で生活するために必要な相談援助等を社会福祉士、精神保健福祉士又は公認心理師等が実施した場合 300単位

#### 強度行動障害者地域移行特別加算

障害者支援施設等に1年以上入所していた強度行動障害を有する者に対して、地域で生活するために必要な相談援助等を強度行動障害支援者養成研修修了者等が実施した場合 300単位

# 支援事例：自立へのステップアップ



## A様の変化（約1年半）

- ・入居当初：自宅からGHへ。力はあるが、身の回りのことがなかなか手につかない
- ・支援：段階的な、共用部の維持管理と役割の認識  
定期的な清掃支援
- ・現在：以前と比べ、清潔維持能力が向上



# BCPについて

## BCPとは？

災害などの緊急事態における企業や団体の事業継続計画（BUSINESS CONTINUITY PLANNING）のことです。

目的は自然災害や、システム障害など危機的な状況に遭遇した時に損害を最小限に抑え、重要な業務を継続し早期復旧を図ることにあります。

# 簡易版BCP「これだけは！」シート（自然災害対策版）

従業員（社長・役員・従業員・パート・アルバイト・派遣社員等）とその家族を守るため、そして事業を継続させることで、地域・社会に貢献するため、このシートを策定します。

## 1. 基本情報

事業所名	グループホームリーベ本庄	所在地	小牧市大字本庄郷浦2597-367	事業継続目標（注1）	大規模災害の発生において、利用者・職員及び家族の安全を確保しながら法人の事業を適切に継続・運営することを目標とする。
事業継続方針	大規模災害の発生において、利用者・職員及び家族の安全を確保しながら法人の事業を適切に継続・運営することを目標とする。			主な委託先（※）（仕入先・協力会社・運送会社・派遣会社等）	

※「主な委託先」とは、相手方の事業が中断した場合に、自社の事業も中断してしまう関係性にある相手方で、サプライチェーン対策の対象となる組織のことです。

## 2. ハザードマップから考えるBCPの発動条件

自社の所在地の災害リスクをハザードマップで確認し、その結果をふまえてBCPの発動条件を設定します。

ハザードマップを確認し、当社所在地で発生しうる災害リスクに「○」を記入	○	地震	津波	所在地における 当社のBCP 発動条件	地震	震度 5強 以上を観測した場合（注3）
		洪水・高潮（外水氾濫）（注2）	内水氾濫（注2）		水害	<input type="checkbox"/> 警戒レベル4「避難指示」（危険な場所から全員避難）（注4）
		土砂災害（地滑り等）	液状化		土砂災害	<input type="checkbox"/> 警戒レベル3「高齢者等避難」（危険な場所から高齢者等は避難）
				その他（※）	<input type="checkbox"/> 主な委託先からの製品・サービスの供給の途絶	

※「その他」欄は地震や風水害などの自然災害だけでなく、ハザードマップでは把握できないテロリズムや情報セキュリティ事故、公共交通機関の計画運休が実施される場合等も設定可能です。

## 3. BCPの発動時の組織体制

緊急時の組織体制を事前に決定します。

従業員間の連絡方法	<input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> SNS（LINE等でグループ作成） <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他（ ） 従業員のご家族同士も安否確認の方法を決めておくことが大切です！				
BCP担当	① 情報担当責任者	最新の災害及び被害に関する情報を収集するとともに社内外への情報発信を行う。	担当： 課長	副担当： 総務	
油谷涼太（司令塔）	② 供給担当責任者	災害発生時・事業中断時における取引先や消費者に対する供給責任に関する対応を行う。	担当： 課長	副担当： 総務	
	③ 予算担当責任者	災害発生時に必要とされる予算の管理を行う。（設備復旧費用・資金繰り等）	担当： 課長	副担当： 総務	
	④ 現場担当責任者	災害発生時における現場での事業継続目標をふまえた初動対応及び復旧対策について対応を行う。（非常招集、安全確認、安否確認、応急処置、救援・救助） 部門（総務・製造ライン等）ごとに配置が必要な場合は複数名選任。	担当： 竹内永遠	副担当： 油谷涼太	
	⑤ 特命担当責任者	①～④の役割と責任の範囲外のこと、別途責任者を定める必要がある場合に、特命担当責任者を選任する。（例：法務等）	担当： 総務	副担当： 油谷涼太	
就業時間外 発災時 参集メンバー	坂上、油谷		経営者層や管理職、担当等に加え、会社に速やかに参集できるメンバーをご記入ください。		
代替拠点	北外山本社				
避難場所	本庄会館		職場の安全が保てない場合（地震、津波、高潮、洪水、土砂災害、大規模火災など）の避難場所及び避難所の確認をお願いください。災害種別によって個別に設定されている場合があります。		
避難所	本庄小学校				

## 4. 発災時の出社・帰宅体制（休日含む）

従業員の出社・帰宅体制の確認と、自社独自ルールを決定します。（注5）

	原則（適用するものに☑）	自社独自ルール
出社・帰宅時間帯に発災	<input type="checkbox"/> （出社時）原則、自宅待機又は自宅に戻る。職場に近い場合は職場へ。 <input type="checkbox"/> （帰宅時）原則、職場内待機又は職場に戻る。自宅に近い場合は自宅へ。 <input type="checkbox"/> 駅等にいる場合は、公共交通機関等の指示に従う。長時間行き場がない場合は、避難所等へ避難する。 <input type="checkbox"/> 職場以外の場合は、必ず会社に連絡する。	
就業時間外に発災（休日等）	<input type="checkbox"/> 自宅待機。 <input type="checkbox"/> 身の安全を優先したうえで、「就業時間外発災時 参集メンバー」は出社。	

上記ルールは、発災後、すぐに逃げないといけないような津波等の災害の場合は除きます。（人命の安全確保が最優先です。）

## 5. 減災の事前対策 「6. BCPの発動時から復旧に向けて」の「必要な事前対策」を含みます。

### 5-1. 備蓄物資 従業員 1人に対し、最低3日分が目安。保管場所は災害被害が及ばない場所に設定。

備蓄物資の確認  
毎年 12月に実施

備蓄物資	備蓄完了 チェック	1人あたりの必要量		従業員数 (人)	最低限必要な 備蓄量	保管場所
飲料水	<input type="checkbox"/>	1日3リットル	×3日=	9	81 リットル	2F事務所
食料	<input type="checkbox"/>	1日3食	×3日=	9	81 食	
簡易トイレ	<input type="checkbox"/>	1日5回分	×3日=	9	135 回	

### 5-2. 訓練・演習の実施

従業員や拠点間の連絡手段を用いた訓練、出社・帰宅に関する訓練、発災時を想定したシナリオに基づく演習に取り組む。従業員には自社のBCPの取り組みを教育（入社時、定期的な研修等）。

訓練・演習の時期  
毎月1回実施

### 5-3. 保険共済への加入 休業補償・自然災害対策も必要。水害による被害が補償されるか契約内容をチェック！

- 火災保険  地震特約  休業対応応援共済  業務災害保険  福祉共済
- 生命保険  その他（ ）

## 6. BCPの発動時から復旧に向けて 経営資源（人・物・金・情報）及び事業継続目標を意識した行動を行います。

「担当」欄内には、上記「3. BCPの発動時の組織体制」の中で、中心となり取り組む各担当責任者の番号をご記入ください。

	担当	まず最初に取り組むこと	次に取り組むこと	必要な事前対策
従業員の安全確認	④	LINEWORKS・電話等による安否確認の実施	安全確認後の出勤可否の確認	災害発生時の安否確認手段の事前共有の実施
利用者の安全確認	④	LINEにて各利用者保証人へ安全確認連絡を行う	日中活動等利用予定の調整の実施	災害発生時のフローチャートを利用者・保護者と共有する
自社の被害状況の把握	③	LINEWORKSにて各施設の被害状況の確認を実施	被害状況が大きい施設へ応援スタッフを派遣する	施設間での情報共有について事前周知を行う
事業継続目標を踏まえた早期復旧への取り組み	③	ライフラインの復旧対応 従業員の安全確認と勤務調整の実施	利用者の安全確認と受け入れ予定の調整を実施	復旧までのフローチャートの作成と定期的な見直しの実施

### ◎宣言 共助の観点から、地域社会のため、以下についても宣言しましょう。

- 職場周辺の地域が行う災害訓練には積極的に参加します。また、災害発生時は、十分な身体防護対策をとり、2次災害が起きないように最大限の配慮を行った上で、救助・消火活動等に協力します。
- 帰宅困難者や地域に提供するため、1割増しの備蓄物資の確保に努めます。

当社の「これだけは！」シート（自然災害対策版）は、次回 2026年 4月に見直します。

# 災害備蓄 3日分程度



# 災害時フローチャート

## 災害発生

### ① 入居者様全員の安全確認

- ・ GH に居る場合⇒全居室をマスターキーで開錠し怪我等ないか確認
- ・ 外出中の場合⇒本人へ TEL し、状況確認。

※連絡が取れるまで 15 分おきに TEL し続ける。

### ② LineWorks にて現状報告

- ・ グループ Line にて全従業員へ現状報告し、従業員も自身の現状を報告する

### ③ 災害の程度や種類によって対応

- ・ 地震⇒GH 自体に大きな損傷が無ければ待機。トイレは災害備蓄を使用。
- ・ 水害⇒避難勧告があれば本庄小学校へ避難。なければ GH にて待機。
- ・ 火災⇒近隣や GH で火災が発生した場合には速やかに本庄小学校へ避難。

※災害備蓄（非常食・トイレ・水等）は 2F 事務所に保管しています。

※災害時は実際の状況で対応に変化がある場合がございます。迷ったら本庄小学校へ避難してください。

# 急変時フローチャート



普段と様子が違う、、、？

### ① 本人様の意識確認

- ・ ある場合⇒本人の様子をスマイルクリニックへ報告し、指示を仰ぐ  
スマイルクリニック TEL:0587-84-3555
- ・ ない場合⇒救急搬送する

### ② LineWorks にて現状報告

- ・ グループラインにて全従業員へ現状報告を行う。

#### 【報告事項】

- ① 意識の有無
- ② 体温
- ③ 血圧
- ④ 脈拍
- ⑤ その他症状（嘔吐・発汗等）
- ⑥（救急搬送の場合）搬送先 HP

### ③ 身元保証人へ連絡

- ・ 個人カルテに記載されている身元保証人へ TEL し、現状を伝える。

※救急搬送された場合は搬送先 HP も必ず伝えて下さい。

入院する場合手続きは家族対応となります。深夜帯であっても同様です。

## 地域共創：共に守る・共に歩む

### 一時避難の協力

災害時、ホームの共用部を一時的な休憩所として地域に開放する検討を行っています。



### 合同避難訓練

次回、町内会と合同での避難訓練を企画したいと考えています。ぜひご助言ください。



### ボランティアの募集

利用者様の趣味活動を広げるため、地域の特技をお持ちの方との交流を希望しています。

# 地域生活支援拠点等の仕組み

～障がいのある人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために～



## ① 相談

基幹相談支援センター等が中心となり、将来の生活や緊急時の対応について、日頃から相談できる体制を整えます。



## ② 緊急時の受け入れ

介護者の急病などで家での生活が難しくなった際、短期入所等で迅速に受け入れる体制を確保します。



## ③ 体験の機会

一人暮らしやグループホームでの生活を「お試し」で体験し、将来の自立に向けた準備をサポートします。



## ④ 専門的人材の確保

医療的ケアや行動障がいにも対応できるよう、専門知識を持ったスタッフを育成・配置します。



## 「面」の整備

地域の事業所が連携して支える仕組み



## ⑤ 地域の体制づくり

地域のネットワークを構築し、課題の解決やサービスの質の向上を検討する会議を開催します。

### 【参考資料】

## 質疑応答・意見交換

### 皆様から頂きたいご意見

- 地域行事への参加頻度について
- ホームの防犯・防災上の懸念点
- 入居者の社会参加への協力方法
- その他、運営への要望事項



地域の皆様の「生の声」を  
お聞かせください



# 質疑応答Q&A



いきなり入居するのは不安があります。



体験利用や短期入所（ショートステイ）での利用も可能です。

リーベとしても、体験を経ることで安心して共同生活が出来ると考えています。

# 質疑応答Q&A



急な体調不良の時はどうしたらいいの？



往診医と連携し、オンラインでの診療や処方頂く  
事が出来ます（内科・精神科・皮膚科）

# 質疑応答Q&A



食事のアレルギーは対応してくれますか？



別メニューでのアレルギー禁止対応が可能です。

# 質疑応答Q&A



お薬が自分では管理できません。



難しい方は、施設側での管理も可能です。

# 質疑応答Q&A



食事はみんなと一緒に食べないとダメですか？



1人でゆっくり食べたい方は、皆さんと時間をずらして  
召し上がって頂けます。

お部屋食を希望される方は、都度ご相談ください。

# 質疑応答Q&A



病院みたいに、消灯時間になったら寝ないとだめですか？



消灯時間（22時）を過ぎたら、共有部ではなく自室でお過ごしください。TV視聴等はイヤホンを使用するなど周囲への配慮をお願い致します。

# 質疑応答Q&A



日中に職員さんがいないこともありますか？



会議等で不在にしていることがございます。  
その際は、ご利用者様用の玄関キーがございまして、  
で、ご帰宅された際はそちらをご利用ください。

# 質疑応答Q&A



地域とどんな関わりができますか？



施設周辺の清掃活動を主軸に、地域の方々に喜んでいただけるような働きができればと思っております。

本日はお忙しい中、お時間を頂戴しまして  
誠にありがとうございました。

